

## 実りの秋 稲刈りで苦労

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」稲が成長すると実を付け、その重みで実(頭)の部分が垂れ下がってくることから、立派に成長した人間、つまり人格者ほど頭の低い謙虚な姿勢であるという事を指すことわざです。この時期になれば思い起こすことわざである。謙虚にならなければいけないと思います。今年は、稲刈り時期に雨が降り、コシヒカリは倒伏した圃場が多く、苦労を掛けました。倒伏したら刈取り時間が多くかかり、水分も多く、乾燥時間も長くかかります。おまけに新羽二重モチも倒伏し、作業者のみなさんとコンバインに負担をかけました。8月下旬から9月26日、もち米を最後に完了しました。携わっていただいた会員の皆様に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



倒伏したもち米を手刈りしてコンバインに入れる様子

美しいふるさとをみんなの力で守っていこう